

資料編 その1

川学習指導展開例（小学校4年生 16時間配当）

単元名 「 川をさぐるう」

ー 線囲いの活動内容は、他の時間へ移動しても可

目 標	川の学習を通して地域の環境を知るとともに、ネットワークを活用し環境問題を広い視野で考えることにより、自然や人々の生活がつながっていることに気付き、環境を守っていかこうとする気持ちや実践力を育てる。			
過程	時	活 動 内 容	ネットワークの活用	教 師 の 支 援
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 学習テーマ：身近な川の様子を調べよう。 </div>				
ふ れ る ・ つ か む 過 程	1	身近な川についての 情報交換	・川ネットワークの 提示	<u>学習状況を把握して評価に役立てるために、川学習シートを活用するとよい。</u> ・川に関する経験や知っていることを自由に発表させる。 ・過去の体験などから身近な自然に関心をもたせる。 ・“ぐんまの川”環境情報ネットワークを開いて、活用のしかたを説明する。 ・インターネットの操作方法やモラルについても指導する。ネットワークの提示については、場面を捉えて行うものとし、『情報の共有化1』の場面で扱うことも可能。 ・川のことや疑問に思ったことや実際に調べてみたいことを書き出させ、活動計画を立てさせる。 ・《川調べカード》を提示し、調べる内容とその方法について説明する。
		“ぐんまの川”環境情報 ネットワークの活用方法の 確認		
身近な川の調査方法について知る。				
5 時 間	2 ・ 3	身近な川の調査活動	・情報収集	・安全に十分配慮し、調査活動を行わせる。 ・それぞれの感じたことを大切に、教師側が方向性を示すことはしない ・児童のつぶやきなどを大切にする。 ・調査活動に適切な場所を事前に確保しておく。 ・群馬県の河川課の出前講座に依頼すると、適切な場所をさ

			<p>がしてくれ、当日もゲストティーチャーとして活動を支援してくれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川や川岸の様子を観察させ《川調べカード》に記入させる。
	4	<p>情報の共有化 1 (調査結果の発信)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果の発信 <ul style="list-style-type: none"> 児童が適切に情報発信ができるように支援する。 共有情報を発したり受けたりすることを通して、広い視野で環境がとらえられることに気付かせる。 <p>集めた情報をどうしたらよいかという投げかけからネットワークの活用へとつなげていく方法も考えられる。その場合には、この場面でネットワークを提示すると効果的。</p>
	5	<p>川の気持ちにこたえるため、調べたいテーマ(課題)をきめ 計画を立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査から川が抱えている問題点を考えさせ、学習の課題作りに取り組ませる。 <p>テーマ例</p> <ul style="list-style-type: none"> 川のよごれ 川をきれいにするには 川の生き物 川のつながり
<p>テーマ：川が抱えている環境問題について調べよう</p>			
広げる過程 5 時間	6	<p>テーマについて調べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集 情報交換
	7		
	8		
	9		
	10		
			<ul style="list-style-type: none"> 自校の調査だけでなく、他校の調査も参考にし、流域としての問題点はないか考える。 ネットワークにより、児童同士で学び合う(または、中学生との交流)ことのできる環境をつくる。 ネットワークから得た情報を生かしながら、自分たちの課題についての調べ活動に取り組ませる。 書籍、インターネット、インタビューなどの方法で調べ活動を行わせるが、<u>河川課などの専門機関からも情報や助言が得られるような場を設定する。</u>

テーマ：身近な川の環境を守るために、自分たちにできることを考えよう			
ま と め る 過 程 6 時 間	11 12 13 14 15	調べてわかったこと、 思ったことをまとめて、 発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい相手に応じた情報発信の方法を考えさせたり、うまく自分たちの思いが伝えられるように工夫させたりする。 ・川の気持ちを考え、それにどう答えればよいかを考えさせる。 ・まとめたことは、校内で発表したり 授業参観で保護者向けに発表したりして、川の大切さに気づいてもらうようにする。
	16	まとめ（川の環境を守るために自分たちでできること）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境破壊の加害者がだれなのかに気づき、自分たちの生活の中の問題点を考える。 ・自分たちの生活を振り返らせ、問題点はないか考えさせる。 ・川の学習をしてきたことを受けて、川の環境を守るために、自分にできること、しなくてはならないことを考えさせる。 ・日常の実践が大切であることに気づかせ活動や実践を継続することで、日頃から環境に対する意識がもてるようにする。 ・ネットワークを活用してメッセージを送ることもできる。
		活動のまとめをする	<u>川学習シートにまとめると便利。</u>